メンテナンス

- 基本的なリセット （1 ページ）
- ネットワーク設定のリセット （3 ページ）
- ユーザとネットワークの設定のリセット （4 ページ）
- CTL ファイルの削除 （4 ページ）
- Quality Report Tool（品質レポート ツール） （5 ページ）
- 音声品質のモニタリング （5 ページ）
- Cisco IP 電話のクリーニング （7 ページ）

基本的なリセット

Cisco IP 電話の基本的なリセットを実行すると、電話機にエラーが発生している状態から復旧したり、各種の設定およびセキュリティ設定をリセットまたは復元したりすることができます。

次の表で、基本的なリセットの実行方法を説明します。電話機が起動した後は、これらのいずれかの操作で電話機をリセットできます。状況に応じて適切な操作を選択します。

表 *1*: 基本的なリセットの方法

操作	アクション	説明
電話機の再起動	**[アプリケーション（Applications）]** を押します。**[管理者設定（Admin settings）]** > **[設定のリセット（Reset settings）]** > **[デバイスリセット（Reset device）]** に移動します。	ユーザ セットアップおよびネットワーク セットアップに変更を加えていても、電話機がフラッシュ メモリに書き込んでいない場合は、以前に保存された設定にリセットされ、その後、電話機が再起動されます。

操作	アクション	説明
設定のリセット	設定をリセットするには、**[アプリケーション（Applications）]** を押し、**[管理者設定（Administrator Settings）]** > **[設定のリセット（Reset Settings）]** > **[ネットワーク（Network）]** を選択します。	ユーザ セットアップおよびネットワーク セットアップの設定値をデフォルト値にリセットし、電話機を再起動します。
	CTL ファイルをリセットするには、**[アプリケーション（Applications）]** を押し、**[管理者設定（Administrator Settings）]** > **[設定のリセット（Reset Settings）]** > **[セキュリティ（Security）]** を選択します。	CTL ファイルがリセットされます。

電話のキーパッドを使用した、工場出荷時設定へのリセット

電話機を工場出荷時の設定にリセットできます。リセットにより、電話機のすべてのパラメータが消去されます。

手順

ステップ 1 電話機から電源を取り外すには、次のいずれかの方法を使用します。

- 電源アダプタを取り外します。
- LAN ケーブルを抜きます。

ステップ 2 5秒間待ちます。

ステップ 3 **#** を押したままにして電話機のプラグを再接続します。

ステップ 4 [ヘッドセット（Headset）] ボタンと [スピーカー（Speaker）] ボタンが点灯したら、**#** を離し、次のキー シーケンスを入力します。

123456789*0#

1 キーを押すと、[ヘッドセット（Headset）] ボタンのライトがオフになります。キー シーケンスを入力した後、[ミュート（Mute）] ボタンが点灯します。

注意 初期状態にリセットするプロセスが完了して、メイン画面が表示されるまで、電話機の電源を切らないでください。

電話機がリセットされます。

電話メニューからすべての設定のリセットを実行する

このタスクは、ユーザとネットワークのセットアップ設定をデフォルト値にリセットする場合に実行します。

手順

ステップ 1 [アプリケーション（Applications）] を押します。

ステップ 2 **[管理者設定（Administrator Settings）]** > **[設定のリセット（Reset Settings）]** > **[すべての設定（All settings）]** を選択します。

必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

関連トピック

電話機パスワードの適用

バックアップイメージから電話機を再起動する

Cisco IP 電話には、デフォルトのイメージが危険にさらされたときに電話機を回復できる 2 つ目のバックアップイメージがあります。

バックアップイメージから電話機を再起動するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 電源モジュール ケーブルを取り外します。

ステップ 2 （アスタリスク キー）を押します。

ステップ 3 電源を再び接続します。ミュート LED が消えるまでスターキーを押し続けます。

ステップ 4 スターキーを離します。
電話機がバックアップイメージから再起動します。

ネットワーク設定のリセット

ネットワーク設定をデフォルト値にリセットし、電話機をリセットします。この方法を実行すると、DHCP が電話機の IP アドレスを再設定します。

手順

ステップ 1 [管理者設定（Admin Settings）] メニューから、必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

ステップ 2 **[設定のリセット（Reset Settings）]** > **[ネットワークのセットアップ（Network Setup）]** を選択します。

関連トピック

電話機パスワードの適用

ユーザとネットワークの設定のリセット

ユーザ設定およびネットワーク設定に変更を加えていても、電話機がフラッシュメモリに書き込んでいない場合は、以前に保存された設定にリセットされます。

手順

ステップ 1 [管理者設定（Admin Settings）] メニューから、必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

ステップ 2 **[設定のリセット（Reset Settings）]** > **[デバイスのリセット（Reset Device）]** を選択します。

関連トピック

電話機パスワードの適用

CTL ファイルの削除

電話機から CTL ファイルのみを削除します。

手順

ステップ 1 [管理者設定（Admin Settings）] メニューから、必要に応じて、電話機のオプションのロックを解除します。

ステップ 2 **[設定のリセット（Reset Settings）]** > **[セキュリティ設定（Security Settings）]** を選択します。

関連トピック

電話機パスワードの適用

Quality Report Tool（品質レポート ツール）

品質レポート ツール（QRT）は、Cisco IP 電話の音声品質と一般的な問題をレポートするツールです。QRT 機能は、Cisco Unified Communications Manager のインストレーションの一環としてインストールされます。

QRT を使用してユーザの Cisco IP 電話 を設定できます。この設定により、ユーザは [品質のレポート（Report Quality）] を押すことによって、電話機のコールの問題を報告できるようになります。このソフトキーまたはボタンは、Cisco IP 電話が [接続時（Connected）]、[接続時（会議打診）（Connected Conference）]、[接続時（転送打診）（Connected Transfer）]、または [オンフック（On Hook）] の状態のときにだけ使用できます。

ユーザが [品質のレポート（Report Quality）] を押すと、問題のカテゴリのリストが表示されます。ユーザが該当する問題カテゴリを選択すると、このフィードバックが XML ファイルに記録されます。実際に記録される情報は、ユーザがどのカテゴリを選択したか、また送信先のデバイスが Cisco IP 電話 かどうかによって異なります。

QRT の使用の詳細については、ご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。

関連トピック

Cisco Unified Communications Manager マニュアル

音声品質のモニタリング

ネットワーク内で送受信されるコールの音声品質を測定するために、Cisco IP 電話では隠蔽イベントに基づく次の統計メトリックを使用します。DSP は、音声パケット ストリーム内でフレーム損失の部分をマスクするために、隠蔽フレームを再生します。

- フレーム損失率のメトリック：音声フレームの総数に対する秘匿フレームの比率を示します。直近フレーム損失率は、3 秒ごとに計算されます。
- フレーム損失発生秒数のメトリック：損失フレームが原因で DSP が秘匿フレームを処理する場合の処理秒数を示します。深刻な「フレーム損失発生秒数」は、DSP が 5 % を超える隠蔽フレームを処理する場合の秒数です。

（注） フレーム損失率とフレーム損失発生秒数は、フレーム損失に基づいた主要な測定値です。フレーム損失率がゼロの場合は、IP ネットワークが損失なく時間どおりにフレームやパケットを配信していることを示しています。

Cisco IP 電話 から音声品質メトリックにアクセスするには、[コール統計（Call Statistics）] 画面を使用するか、または、リモートで [ストリーム統計（Streaming Statistics）] 画面を使用します。

音声品質のトラブルシューティングのヒント

メトリックに大幅な変化が継続的に見られた場合は、次の表の一般的なトラブルシューティング情報を使用してください。

表 *2:* 音声品質メトリックの変化

メトリックの変化	条件
フレーム損失率とフレーム損失発生秒数が大幅に増加した	パケット損失または高いジッターによるネットワーク障害。
フレーム損失率はほとんどゼロであるが、音声品質が悪い。	• 音声チャネルのノイズや歪み（エコー レベルやオーディオ レベルなど）。 • 複数のエンコード/デコードが使用されているタンデム コール（セルラー ネットワークや電話カード ネットワークへのコールなど）。 • スピーカーフォン、ハンドフリー携帯電話、またはワイヤレス ヘッドセットなどから発生する音響問題。 送信パケット（TxCnt）と受信パケット（RxCnt）のカウンタをチェックし、音声パケットが流れていることを確認します。
MOS LQK スコアが著しく減少	パケット損失または高いジッター レベルによるネットワーク障害。 • 平均 MOS LQK の減少は、広範囲の画一的な障害を示している可能性があります。 • 個別の MOS LQK の減少は、集中的な障害を示している可能性があります。 フレーム損失率とフレーム損失発生秒数を照合して、パケット損失やジッターがないか確認してください。
MOS LQK スコアが著しく増加	• 電話機が適切なコーデック（RxType および TxType）を使用しているかどうかを確認してください。 • MOS LQK のバージョンがファームウェア アップグレード以降に変更されたかどうかを確認してください。

（注） 音声品質メトリックでは、ノイズや歪みは考慮されません。フレーム損失だけが考慮されます。

Cisco IP 電話のクリーニング

Cisco IP 電話をクリーニングする際は、必ず乾いた柔らかい布を使用して電話機と画面を軽く拭いてください。液体や粉末を電話機に直接付けないでください。すべての非耐候性の電子機器と同様に、液体や粉末はコンポーネントを損傷し、障害を引き起こすことがあります。

電話機がスリープ モードになっているときは、画面は空白で、選択ボタンは点灯していません。電話機がこの状態のときは画面をクリーニングできます。ただし、クリーニングを終了するまで電話機のスリープ状態が続くとわかっている場合に限ります。